



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

オンライン市民講座

「新型コロナ感染症対策とコロイド・界面化学」

はじめに

第72回コロイドおよび界面化学討論会は、新型コロナウイルス感染症流行下での2度目のオンライン討論会となりました。今討論会の主題は、感染症対策やウイルスの感染機序の理解におけるコロイド・界面化学の役割を意識し、「ライフサイエンスとコロイド・界面化学」といたしました。そして特にコロナ禍で国民の関心が健康、とりわけウイルス、ワクチン、免疫、消毒、環境衛生などに対して高まっていることを鑑み、会期中に特別企画の1つとして、参加費無料のオンライン市民講座を開催いたしました。

開催内容

健康を支えるコロイド・界面化学を広く世間に知っていただくため、土曜日(9月18日)の午後に「新型コロナ感染症対策とコロイド・界面化学」と題し、高校生および一般の方々を対象として、専門家の立場から最新の情報を交えてわかりやすくお話しをしていただきました。講師と講演主題は次のとおりです(プログラム順)。

- ・広島大学大学院医系科学研究科免疫学 保田朋波流先生「感染症治療薬として期待される人工中和抗体」
- ・ライオン(株) ビューティケア研究所 尾本百合子先生「正しい手洗い、うがい、消毒の方法とその効果について」
- ・シャボン玉石けん(株) 研究開発本部

川原貴佳先生「新型コロナウイルス等の感染対策に用いられる手洗い石けんの抗ウイルス効果」

- ・花王(株) 安全性科学研究所 西尾正也先生、藤井健吉先生「接触感染リスク削減のための新型コロナウイルス環境除染技術」

参加者数は160名で、部会関係者以外が6割を占めました。図1の下の円グラフに示すように、10代から70代までの幅広い年齢層の方々にご参加いただき、年代や性別を問わず興味を持っていたことがわかります。特に10代と20代が参加者の5割以上を占め、若い世代が関心をもっているのは頼もしいことでした。また属性別内訳では高校生が約2割で、スーパーサイエンスハイスクール生徒、グローバルサイエンスキャンパス

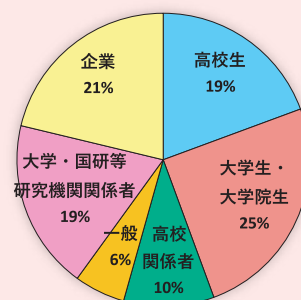


図2 属性別参加者内訳

受講生に多数参加いただきました(図2)。講演後の質疑応答時間では、チャットを併用したところ、時間内にすべて取り上げ切れないほどたくさんの質問をいただき、静かな活況を呈していました。

参加者からは、「専門家による説明でよく理解できた」、「抗体は5種類もあり、それぞれ大きさ、局在する場所や働きが違うことを知ることができて、面白かった」などの感想をいただき、好評でした。

おわりに

今回の討論会は2022年9月20日(火)~22日(木)に広島大学で開催します。2年ぶりに対面で実施できることを願っています。それまでにぜひとも部会への入会をご検討下さい。下記のURLからオンラインで簡単に手続き可能です。
<https://colloid.csj.jp/participation/>

〔第72回コロイドおよび界面化学討論会
実行副委員長 ヴィレヌーヴ真澄美
(広島大学大学院統合生命科学研究科)〕

© 2021 The Chemical Society of Japan

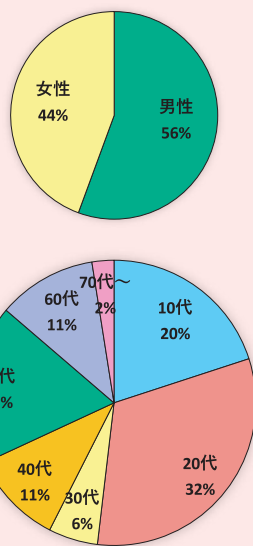


図1 性別・年代別参加者内訳